

2014年春期(第154回)講演大会記録

2014年春期講演大会は、3月21日から23日の期間、東京工業大学大岡山キャンパスにおいて開催した。講演発表件数は825題、大会参加者は1,425名であった。

- 3月21日(9:00~9:40) 開会の辞、大韓金属・材料学会代表挨拶、TMS代表紹介、各賞贈呈式(70周年記念講堂)
- (9:50~11:40) 学会賞受賞記念講演、本多記念講演(70周年記念講堂)
- (10:00~17:00) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演(南2号館~南4号館、南6号館~南8号館 14会場)
- (12:00~17:00) ポスターセッション(蔵前会館)
- (18:30~20:30) 懇親会(八芳園「ジュール」)
- 3月22日(13:00~17:45) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演(南2号館~南4号館、南6号館~南8号館 19会場)
- 3月23日(9:00~16:50) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、Young Leader International Scholar講演、共同セッション(南2号館~南4号館、南6号館~南8号館 19会場)
- 3月21日~3月23日 総合受付(南8号館2階)、金属組織写真展示(南3号館1階)
付設機器・カタログ展示会(南8号館1階)

開会の辞

掛下知行会長より開会の挨拶があった。

大韓金属・材料学会代表挨拶(3月21日)

本会と大韓金属・材料学会との学術交流協定にもとづき、Lee Changhee 会長が来日し挨拶した。

TMS 代表紹介(3月21日)

本会とTMSとの国際交流促進協定にもとづき、TMSから第9回 Young Leader International Scholar として来日した代表者の Michele.V.Manuel 氏が紹介された。

各賞贈呈式

各賞受賞贈呈の前に会長の式辞があり、続いて贈呈があった。(3月21日)

第59回学会賞贈呈式 宮崎修一君に対して賞状ならびに賞牌贈呈。(受賞者;本誌181頁)

第15回学術功労賞贈呈式 4名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者;本誌182頁)。

第55回技術賞贈呈式 1名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者;本誌182頁)。

第64回金属組織写真賞贈呈式 最優秀賞1件および優秀賞1件に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者;本誌182頁、作品191頁)。

第45回研究技術功労賞贈呈式 11名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者;本誌183頁)。

第72回功績賞贈呈式 8名(物性部門2名、組織部門1名、力学特性部門1名、材料化学部門1名、材料プロセッシング部門1名、工業材料部門1名、工業技術部門1名)に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者;本誌185頁)。



おめでとうございます。

第53回谷川・ハリス賞贈呈式 4名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者;本誌187頁)。

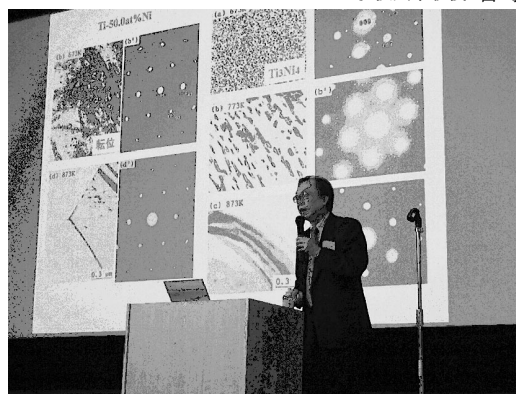
第20回増本量賞贈呈式 1名に対し賞状ならびに副賞贈呈(受賞者;本誌188頁)。

第20回若手講演論文賞贈呈式 3名に対し賞状贈呈(受賞者;本誌188頁)

第59回学会賞受賞記念講演(3月21日)

「形状記憶合金の基礎研究と材料開発」

筑波大学教授 宮崎修一君



宮崎先生によるご講演。

第59回本多記念講演会(3月21日)

「材料強度と熱活性化変形過程に関する若干の考察」

東京工業大学教授 加藤雅治君



加藤先生によるご講演。

懇親会(3月21日)

八芳園(港区白金台1-1-1)において日本鉄鋼協会と合同で開催した(参加者は273名、本会への申込者・招待者85名)。

開会の辞・司会

東京工業大学 教授 竹山雅夫君

来賓挨拶 東京工業大学 学長 三島良直君
日本鉄鋼協会会長挨拶 新日鐵住金㈱代表取締役副社長 宮坂明博君
日本金属学会会長挨拶・乾杯 大阪大学大学院工学研究科長 掛下知行君
懇談 東京工業大学 教授 竹山雅夫君
閉会の辞

学術講演会(3月21日～23日)

最終講演件数825件

欠講5件(講演番号:一般No.364 ポスターNo. P1, P20, P23, P92)

学会賞受賞記念講演1件, 本多記念講演1件

公募シンポジウム講演11テーマ183題(基調講演77題含む)

一般講演507題(功績賞受賞講演8題, 谷川・ハリス賞受賞講演4題, 増本量賞受賞講演1題, 技術賞受賞講演1題, Young Leader Scholar 講演1題含む)

共同セッション19題

ポスターセッション99題

講演会場 19会場

第22回ポスターセッション(3月21日)

3月21日12:00～17:00の時間に蔵前会館くらまねホールで99件のポスター発表が行われ, そのうち優秀ポスター賞にエントリーおよび審査対象となっている89件の内容・発表について審査が行われた。半数交代の二部構成で発表を行った。一般講演は午後3時で終了とし, 多くの聴講者がポスターセッション会場へ足を運んでいた。

翌22日「優秀ポスター賞」12名が決定し, 受賞者を総合受付に掲示した。



熱気あふれるポスター会場。

金属学会・鉄鋼協会共同セッション

「チタン・チタン合金」18題は3月23日に金属学会H会場で開催した。

「超微細粒組織制御の基礎」9題は3月23日に金属学会B会場で開催した。

「マイクロ波応用プロセッシング」9題は3月23日に鉄鋼協会第13会場で開催した。

Joint JIM/TMS Young Leader International Scholar Program

若手研究者の活動の活性化とTMSとの国際交流促進を目的に2006年より設けられたJoint JIM/TMS Young Leader International Scholar Programとして, TMSから派遣された代表者 Michele.V.Manuel氏が一般講演「形状記憶・マルテンサイト材料」の中でYoung Leader International Scholar 講演発表後, 座長より賞状が授与された。



Dr. Michele.V.Manuelによる講演。左から岡部教授(東大), Dr. Michele, 御手洗世話人, 梶原事務局長。



Dr. Michele を囲んでの懇親会にて。

第6回男女共同参画ランチョンミーティング(3月23日)

大型アンケート報告とともに, 「金属材料分野での多様なキャリアパス」をテーマにJoint JIM/TMS Young Leader International Scholar Programとして, TMSから派遣された代表者 Michele.V.Manuel氏が講演を行った。

参加者28名

付設機器・カタログ等展示会(第34回)

機器展示20社, 出版物・カタログ展示1社から出展の協力を得た。展示会場は南8号館1階で開催した。春期講演大会では過去最高の出展数であった。各社のご好意に感謝いたします。

託児室 今回は利用者がなく開設しなかった。

大会雑記

東京工業大学大岡山キャンパスでの開催は5年ぶりとなる。講演会場は蔵前会館, 70周年記念講堂の他, 南地区の建物南2号館～南4号館, 南6号館～南8号館で行った。建物は隣接していたが, 会場は分散となった。

例年より1週間早い開催のため, 桜は蓄程度であったが, 3日間晴天に恵まれ交通機関に影響はなく, 3日間無事に講演を終了することができた。

東京工業大学教職員関係者ならびに事務関係者の皆様にはお忙しい中を諸般にわたり, 終始万端のご配慮をいただき, ご協力に対し心から厚く御礼申し上げます。